



慶應義塾大学 講義要綱・シラバス・時間割

Keio University Syllabus

[戻る](#)
Go Back

[トップへ戻る](#)
Go to Toppage

科目名 Course Title	開講学期 Semester	曜日・時限 Day/Period	単位 Credit
日本史特殊 I H	2017・春学期	水4	2
サブタイトル Subtitle	日本中世絵画史料論	キャンパス Campus	三田
担当教員名 Lecturer	藤原 重雄	設置課程 Degree Program	学士課程
		設置学部・研究科 Faculty/ Graduate School Program	文学部

授業科目の内容 Course Description

現代の私たちは、視覚的なイメージに取りまかれて日々の生活を送っている。それらは、人間の情動に直接的に働きかけるメッセージを帯びているが、あまりに無防備に身を晒している側面も看過できない。また教科書などの歴史教育の現場でも、視覚的イメージの役割が大きくなり、歴史認識を形づくっている。

歴史学の基礎には、史料批判という考え方がある。歴史叙述に際しての素材について、その性格を吟味する態度である。日本史学の分野では文献史料への史料批判の蓄積があり、高度に洗練されてもいる。中世史研究においては、対象とする史料領域が拡大し、絵画を扱った研究も進展した。

本講義では、こうした日本中世の絵画作品に関する歴史学からの研究(絵画史料論)について、方法的な課題を意識に置きながら、絵巻・掛幅縁起絵・肖像画・洛中洛外図などの具体的な作品についての研究実践を解説してゆく。できるだけ多くの画像を映し、中世絵画の豊かさを知ってもらおうと同時に、主体的に生きて行くための視覚を鍛える機会にもしたい。

テキスト(教科書) Textbooks

特に指定しません。プリント等の資料を配布します。

参考書 Reference Books

【全般】

黒田日出男「図像の歴史学」(『増補 姿としぐさの中世史』平凡社ライブラリー、2002年)ISBN: 4582764452

藤原「中世絵画と歴史学」(『日本の時代史』30、吉川弘文館、2004年)ISBN: 4642008306

藤原『史料としての猫絵』(日本史リブレット79、山川出版社、2014年)ISBN: 9784634546912

ピーター・バーク(諸川春樹訳)『時代の目撃者―資料としての視覚イメージを利用した歴史研究』(中央公論美術出版、2007年)ISBN: 9784805505489

吉田ゆり子・八尾師誠・千葉敏之編『画像史料論 世界史の読み方』(東京外国語大学出版会、2014年)ISBN: 9784904575321

※その他、個別には講義にて紹介する。

[▲ページの先頭へ](#)

[戻る](#)
Go Back

[トップへ戻る](#)
Go to Toppage